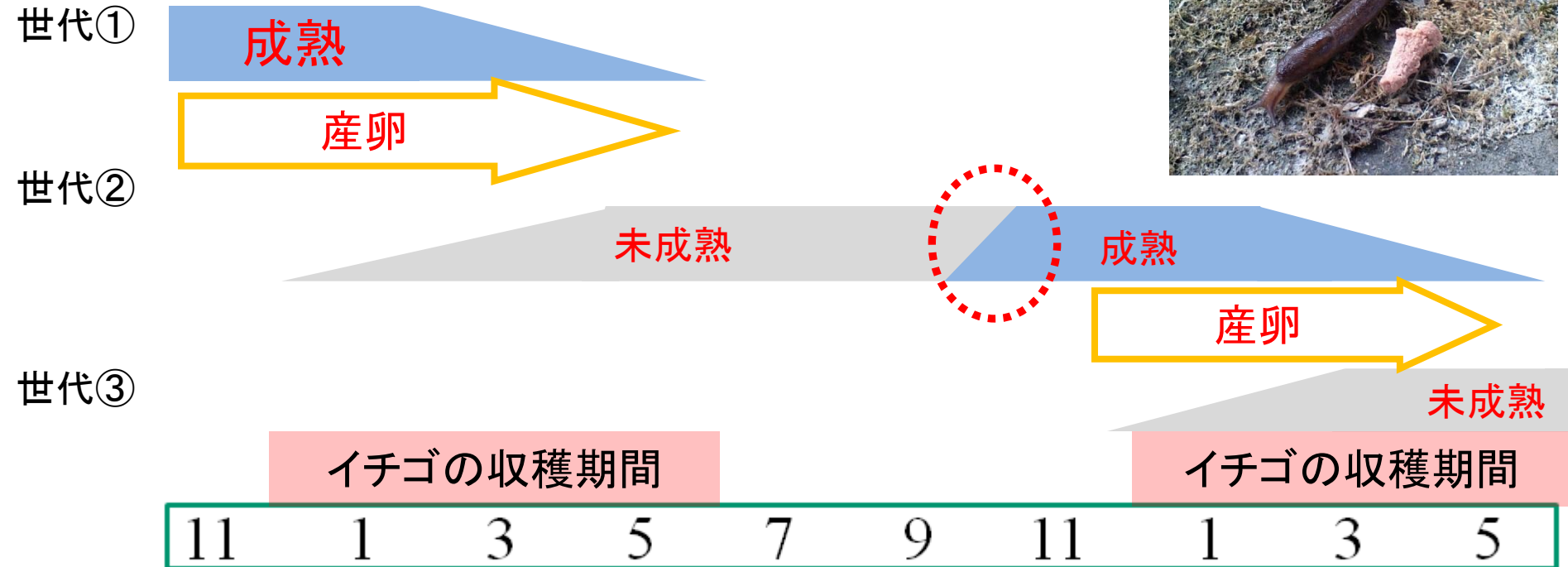


ナメクジの生態



野外でのチャコウラナメクジの生活史(大阪)



- 野外での産卵期は11～4月 (月)
- 平均産卵数は約300個(ふ化個体数は約100頭)
- 産卵を終えた個体は6月までに死亡
- 卵は32℃以上ではふ化せず、幼体は36℃以上では生存できない



出典:「ナメクジ」おもしろ生態とかしこい防ぎ方(農文協)
宇高寛子・田中寛 著 を一部改変

施設イチゴでは、ナメクジの産卵前(9月～10月:イチゴの定植直後)のモニタリング調査と防除が有効ではないか？

ナメクジの発生状況調査(トラップ調査)



トラップ:直径90mmのプラスチックカップにφ10mmの穴を四方に開け、
誘引剤(ナメキール1g)入れ、フタをする。

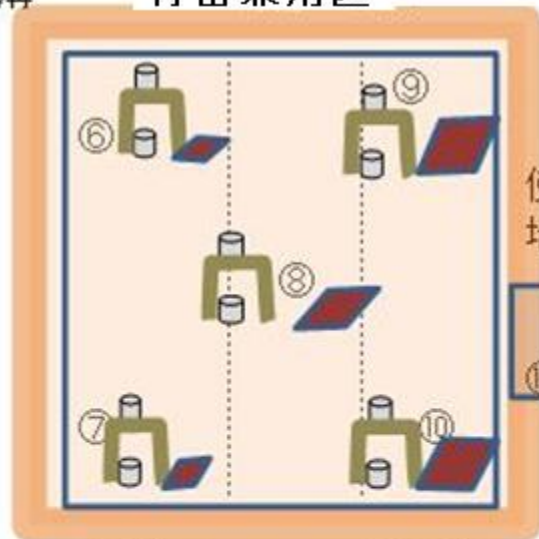
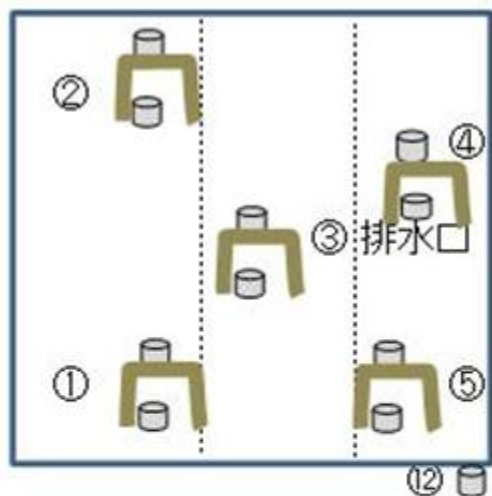


太陽熱消毒後の土耕栽培(豊北町田耕)
(施設内外とも発生なし)

太陽熱消毒(実施・未実施)高設栽培
(豊北町角島)

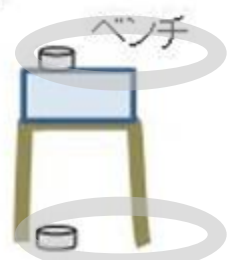
ナメクジ類のトラップによるモニタリングと対策

(設置方法: 平面図) 太陽熱消毒区 排水溝 育苗兼用区



薬剤処理:
平成22年10月20日、
育苗兼用区及び周囲
の地表にメタルデヒ
ド剤(1g/m²)を施用

(設置方法: 立面図) 本ば



⑥苗なし ⑦⑩育苗箱
育苗



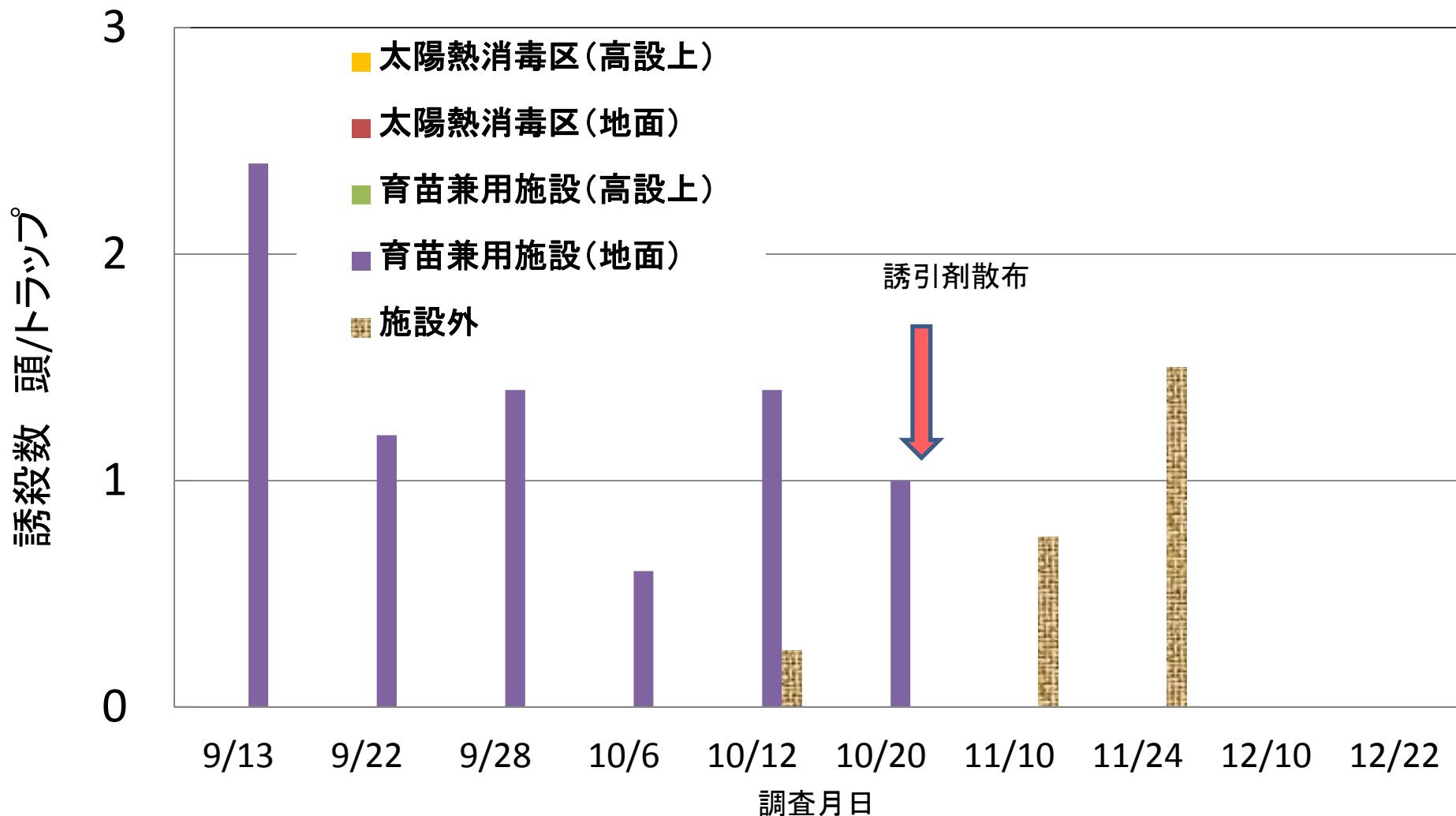
誘殺ナメクジあり



結果 ・育苗ハウスの地表面、育苗ハウスの外で誘殺あり
・高設ベンチ、育苗トレイ、使用済み培土置き場では誘殺なし

対策→ 秋(産卵前)の防除を徹底するため、発生が確認された施設及び
周辺の地上に殺虫剤を施用する。 施用量(1g/m²)

高設栽培イチゴ施設におけるナメクジ類の誘殺推移



- ・育苗施設内では、9～10月に誘殺されたが、薬剤散布後は誘殺されなかった。
- ・施設外では、10月～11月に誘殺されたが、12月以降は誘殺されなかった。